

I 総 説

第 1 部 宮崎県の概況

第 1 章 環境にかかわる県の概況

1 地勢・気候

本県は、九州の南東部に位置し、東は太平洋に面しています。

総面積は約7,735km²で国土の約2%に当たり、全国14番目の広さですが、山岳地帯が多く、これらを水源に五ヶ瀬川、耳川、小丸川、一ツ瀬川、大淀川などの河川が太平洋にそそぎ、豊富な水資源をもたらしています。

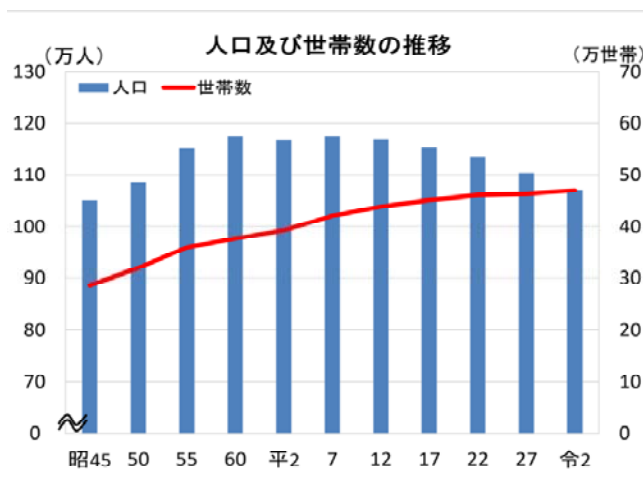
気候は、平成3年から令和2年まで30年間の平年値では、降水量2,626mmが全国第2位となっており、平均気温17.7℃が第3位となっています。なお、令和元年の降水量は3,046mmで全国第1位となっています。

2 人口・世帯数

昭和45年以降の本県人口の推移を国勢調査年次毎にみると、60年まで増加を続け、特に50年から55年にかけて大きな増加を示しましたが、その後、緩やかに増減を繰り返しましたが、平成7年以降、減少傾向にあります。

令和2年国勢調査による10月1日現在の本県の人口は、1,069,576人（男504,763人、女564,813人）となっており、平成27年の前回調査と比較すると、34,493人（3.1%）減少しています。

一方、令和2年国勢調査による10月1日現在の本県の世帯数は、470,055世帯となっており、平成27年の前回調査と比較すると、7,197世帯（1.6%）の増加となりました。



注：国勢調査年次の数値
各年10月1日現在

3 産 業

本県の産業構造をみると、総生産額では第3次産業の割合が高いものの、全国的には、産業全体に占める第1次産業の割合が高い県となっています。

産業別県内総生産の比較（平成30年度）

産 業	県内総生産額（億円）	割合（%）
第1次産業	2,001	5.3
第2次産業	9,501	25.4
第3次産業	25,646	68.6

（注）輸入品に課される税・関税等が加算控除されていないため、構成比の合計は100%にはなりません。

4 土地利用

本県の土地利用区分は、次表のとおり、森林が県土の約75.7%を占め、次いで農地が約8.5%となっています。

県土の利用区分別面積（基準日：10月1日）

（単位：ha、％）

区 分	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	
	面 積	面 積	面 積	面 積	構成比
農 地	67,600	66,800	66,300	66,000	8.5
森 林	585,813	585,682	585,815	585,646	75.7
原 野 等	2,100	2,204	2,253	2,155	0.3
水面・河川・水路	22,641	22,621	22,600	22,648	2.9
道 路	26,551	26,202	25,973	25,942	3.4
宅 地	27,585	27,527	27,709	27,934	3.6
（住 宅 地）	17,668	17,635	17,686	17,790	(2.3)
（工 業 用 地）	1,296	1,450	1,496	1,530	(0.2)
（その他の宅地）	8,621	8,442	8,527	8,614	(1.1)
そ の 他	41,241	42,496	42,882	43,207	5.6
合 計	773,531	773,532	773,532	773,532	100.0

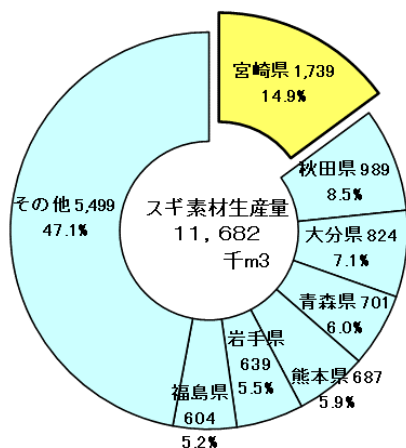
5 道路交通

本県の県内道路網は、高速自動車国道3路線、一般国道19路線（直轄分3路線、県管理分16路線）、主要地方道48路線、一般県道145路線、市町村道34,444路線の総計34,659路線に及び、これらの実延長は20,211kmです。

6 エネルギー

平成24年7月に開始された固定価格買取制度によって、太陽光発電を中心とした再生可能エネルギーの導入が進んでいます。

宮崎県のスギ素材生産量は平成3年から30年連続日本一



令和2年のスギ素材生産量は、全国生産量の約15%にあたる174万立方メートルです。

資料：農林水産省大臣官房統計部
「令和2年木材統計」